

一般質問

森田
議員

○高齢者等わくわくおでかけ支援事業費について

質 平成27年9月議会以降、見直しを行っていたが、利用者から温泉券は余り、外出券は不足するとの御意見を今回もいただいております。利用率向上のためにも、高齢者に生きがいが高まる制度であるために、もう一度再編が必要だと思いますが市長にお答えをいただきたい。

長寿介護課長 わくわくおでかけ券支援事業の見直しについては、平成28年度から外出支援券を5千円から5千500円に増額し全て交通費として利用できるようにしています。また、温泉優待券については、施設利用券と名称変更し、幅広く利用できるように見直しを行いました。

市長 高齢者等わくわくおでかけ支援事業については、平成28年度に見直しを行うとともに、市報等でのPR活動を行った結果、交付率、利用率ともに増加しており、一定の成果を上げています。昨年度に見直しも行っておりますので、平成29年度については現行の方法で取り組ませていただきたいと思います。

○市職員の意識改革の必要性和具体策について

質 市役所は税金を有効に使い、市民が求めるサービスを平等に提供しなければならぬと思いますが、現在の市職員の市民に対する意識というものをどのように評価されているか、お尋ねいたします。

副市長 個々のケースによっては苦情もいただくこともあるかと思いますが、去年の1月の大雪による断水の対応など、全職員が一丸となつて対応したことなどを考慮すると、全体的には職員はよくやっていると評価をしています。

質 市民サービスの維持という観点に立てば、本市の財政規模に応じた人件費枠を設定し、従来の昇給率を抑えるなど、仕事の成果に応じた昇給制度とすることで、職員の意欲や意識の高揚につなげることを急速に進めていくべきだと思いますが、市としてどのように考えておられますか。

副市長 地方公務員法の改正に伴い、本市においても人事評価制度を実施しており、平成29年度からは人事評価の結果が職員の給与等に反映されます。全職員が年度の職務目標を立てて、その職務目標が実現できたかどうかという点を中心に成果を確認していく手法で、ある面成果主義を採用し、給与等に反映します。

常任委員会の審査概要

総務委員会

【議案】松浦市課設置条例の一部改正について

企業立地課と商工観光課が見直され、商工振興課と食と観光のまち推進課として再編されました。商工振興課は商工業、企業誘致、雇用及び交通運輸に関する事務を担当し、食と観光のまち推進課は、観光、交流人口拡大、物産振興及び福岡都市圏交流に関する事務を行います。

【議案】平成28年度松浦市一般会計補正予算(関係分)

地域振興基金積立金として230万円、教育振興基金積立金として472万8千円が計上されました。ポートレースチケットショップまつうらからの収益は各種基金に積み立てられる事になりました。

【議案】平成29年度松浦市一般会計補正予算(関係分)

平成29年度一般会計の歳入は188億5千500万円が計上されました。前年

度と比較し1億9千500万円の増額となっています。増額の主なものとして寄付金の1億9千900万円があります。

松浦高等学校支援事業補助金として、1千133万5千円が計上されました。昨年度までの支援内容の見直しを行い、地域連携及び魅力発信事業の項目が追加。昨年度までと比べ保護者の経済的負担の支援を主にしたものから、高校の魅力化を支援していくための費用の割合が増加しています。

その他、市内定住を促すための松浦市定住促進事業費補助金に1千444万6千円、若者新生活応援事業（ふるさと就職奨励金や新生活奨励金）に3千485万円などが計上されています。

